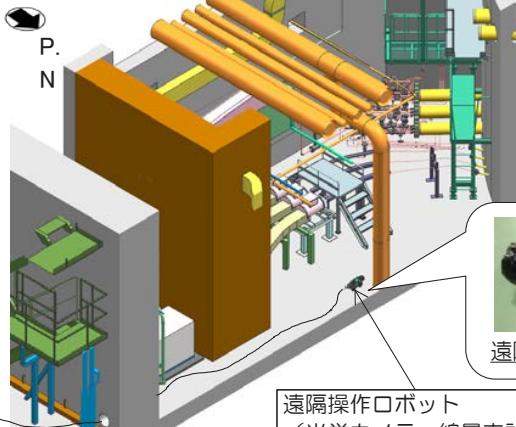


場所	分類	被ばく低減対策好事例集	
原子炉建屋内 RB タービン建屋内 TB R ZONE R Y ZONE Y G ZONE G その他 ( ) Z	RB 5 1 時間 2 距離 3 遮へい 4 線源の除去 5 遠隔、ロボット化 6 汚染拡大防止 7 その他	番号	28-04
内 容	小型ロボットの活用によるTIP室調査（状況確認/線量率測定）		
作業部位	1号機原子炉建屋1階 TIP室		
概 略	TIP室の状況を調査するにあたり室内の状況が不明のため、小型ロボットを活用した調査を実施した。		
評価(定性・定量)	効果	対策前	対策後
	被ばく線量(mSv)	--	--
	人工数(人日)	--	--
事例詳細			
対策前	TIP室内は高線量率である可能性が高く、作業者が立ち入ることが不可能であり、TIP室内状況が不明であった。		
対策内容	壁に穴をあけ、小型ロボットを内部に入れてTIP室内の環境線量率測定及び室内調査を実施した。作業者は、近傍の低線量率エリアでロボット操作を実施し、不要な被ばくを防止した。		
室内の環境線量率は不明	→	小型の遠隔操作ロボットによる調査	
室内へのアクセスは壁穿孔穴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員は低線量エリアでロボット操作</li> <li>・小型タイプのため、小さい穴から侵入</li> </ul>	
			
低線量エリアでロボットを遠隔操作			遠隔操作ロボット外観
			遠隔操作ロボット (光学カメラ、線量率計)